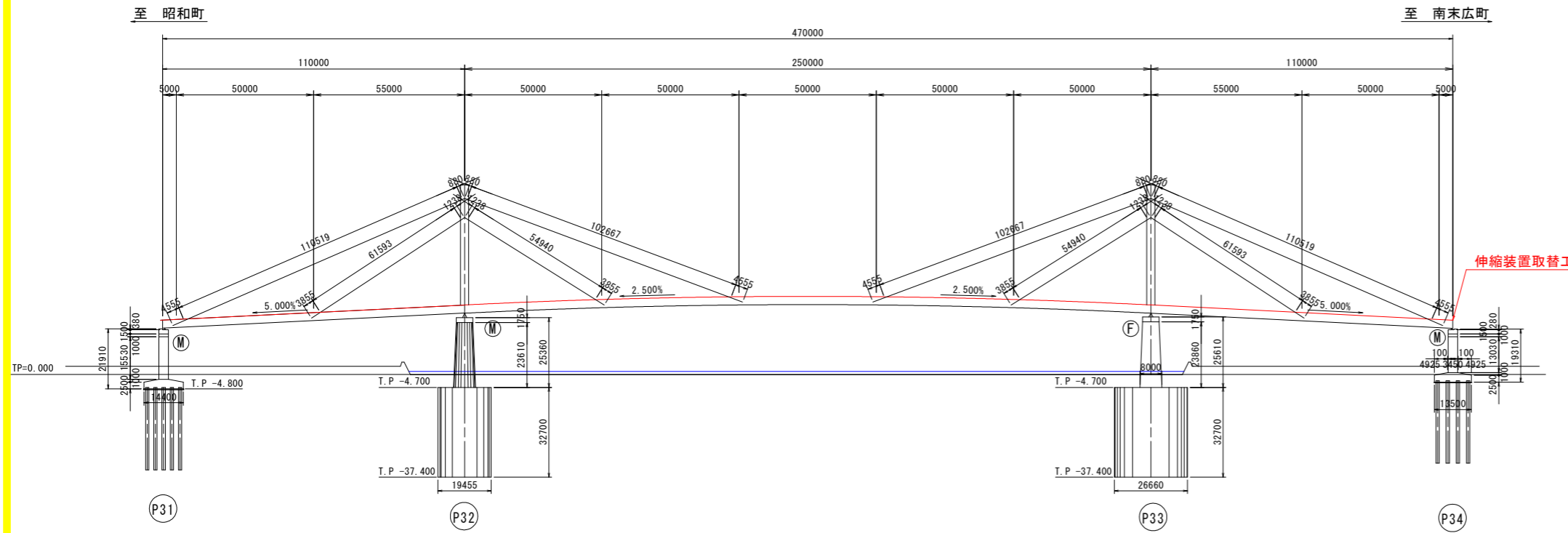
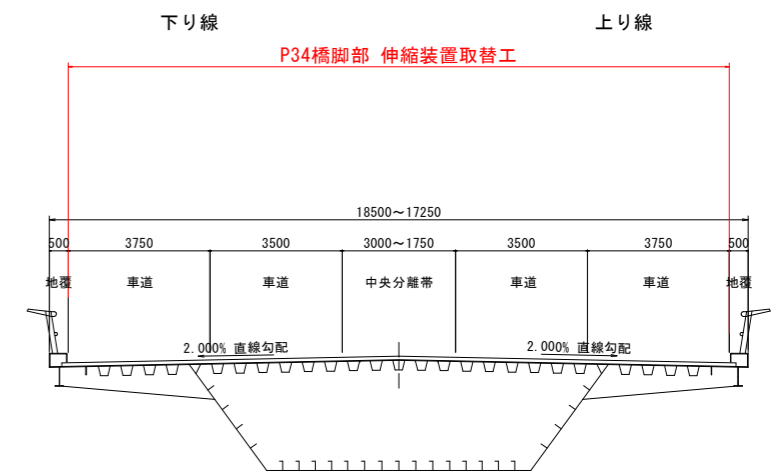


補修一般図 S=1:1000

側面図

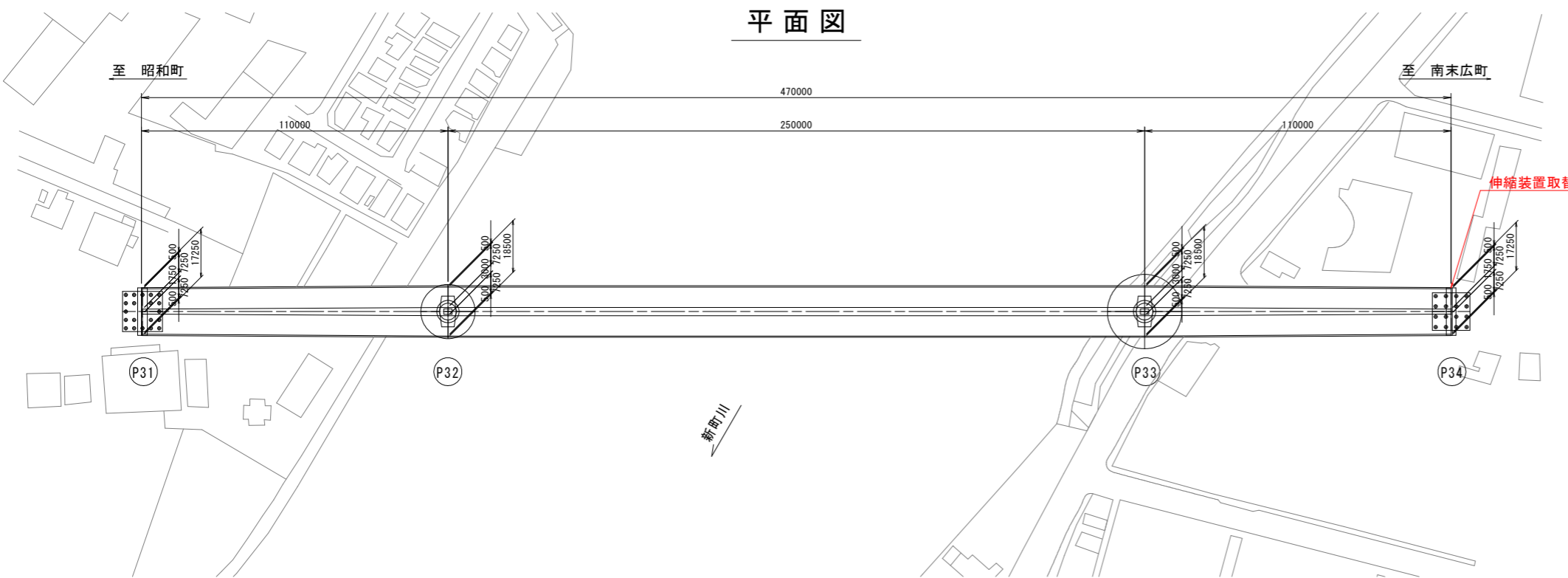


断面図 S=1:100



勾配	i=5.000%																												
計画高	19.800	20.800	21.800	22.800	23.800	24.800	25.300	25.780	26.620	27.300	27.820	28.180	28.380	28.405	28.420	28.300	28.020	27.580	26.980	26.220	25.300	24.300	23.300	22.300	21.300	20.300	19.800		
地盤高	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.000	3.000	4.500	5.500	5.900	5.000	3.000	2.400	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.400	2.400	2.500	2.500	2.500	2.500	2.400	2.400	
追加距離	-1440.000	-1460.000	-1480.000	-1500.000	-1520.000	-1540.000	-1550.000	-1560.000	-1580.000	-1600.000	-1620.000	-1640.000	-1660.000	-1675.000	-1680.000	-1700.000	-1720.000	-1740.000	-1760.000	-1780.000	-1800.000	-1820.000	-1840.000	-1860.000	-1880.000	-1900.000	-1910.000	-1920.000	-1940.000
測点	No. 72	No. 73	No. 74	No. 75	No. 76	No. 77	+10.000	No. 78	No. 79	No. 80	No. 81	No. 82	No. 83	+15.000	No. 84	No. 85	No. 86	No. 87	No. 88	No. 89	No. 90	No. 91	No. 92	No. 93	No. 94	No. 95	+10.000	No. 96	No. 97

平面図



【橋梁諸元】

項目	諸元	
橋梁名称	末広大橋	
所在地	(自) 徳島県徳島市昭和町8丁目 (至) 徳島県徳島市南末広町2丁目	
路線名	主要地方道 徳島環状線	
管轄	徳島県東部県土整備局〈徳島〉	
橋長	470.000m (=110m+250m+110m)	
径間数	3径間	
幅員	全幅：17.25~18.50m、有効幅員：16.25~17.50m 地覆0.5m+車道7.25m+車道7.25m+地覆0.5m	
上部工形式	3径間連続鋼床版逆梯形箱桁斜張橋	
下部工形式	T型橋脚柱角型(RC)2基、T型橋脚柱円型(RC)2基	
基礎工形式	場所打杭	
設計荷重	1等橋(TL-20)	
適用示方書	1972年(昭和47年)道路橋示方書	
架設年度	1976年(昭和51年)5月	
交差物件	一級河川吉野川水系 新町川	
緊急輸送路の指定	有	
補修・点検履歴 (初回点検以降)	2008年：橋梁定期点検 2008年：伸縮装置補修 2013年：橋梁定期点検 2013年：中央分離帯改良 2014年：照明灯支柱亀裂補修 2018年：橋梁定期点検 2020年：伸縮装置補修工事 2023年：南側ケーブル修繕工事 2024年：北側ケーブル修繕工事	
使用材料	主桁	SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50B, SM41A, SS41
	対傾構・横リブ ブラケット	SMA41A, SS41
	端隔板	SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50C, SM50B, SM41A, SS41
	主塔	SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50C, SM50B, SM41A, SS41
	支承	SMA50C, SMA50B, S30C, SC46, 銅合金, ScMn2A, SCW42 ※ 外気に触れる部分は耐蝕性鋼材
ケーブル	パラレルワイヤーストラッドφ242mm(7+PWS169, 6+PWS127)	

補修内容

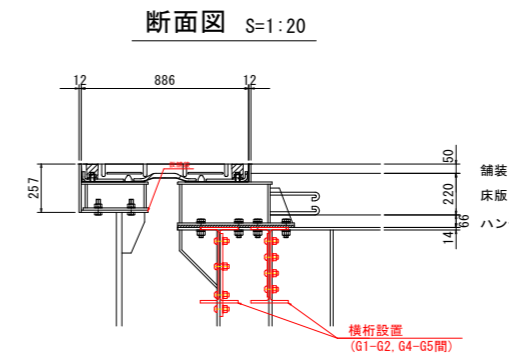
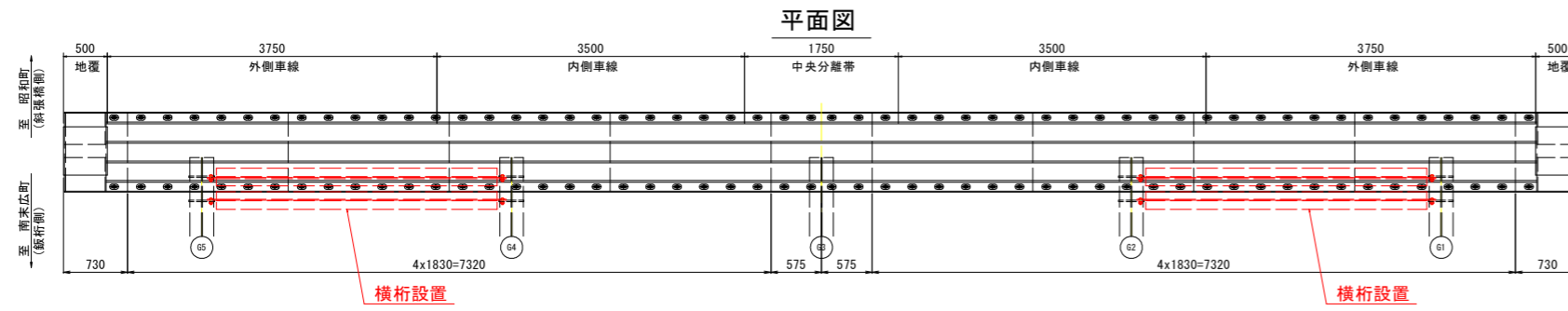
部材	補修工法	単位	数量	備考
橋面舗装(車道部)	舗装打換工(基層・表層)	式	1	
橋面舗装(中央分離帯部)	アスファルト乳剤系表面処理工・クラック補修工	式	1	
伸縮装置(P34)	伸縮装置取替工	箇所	1	

実施設計図面

工事名	R6徳島 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)		
図面名	補修一般図		
縮尺	1:1000	図面番号	1/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		

伸縮装置取替施工要領図 S=1:40

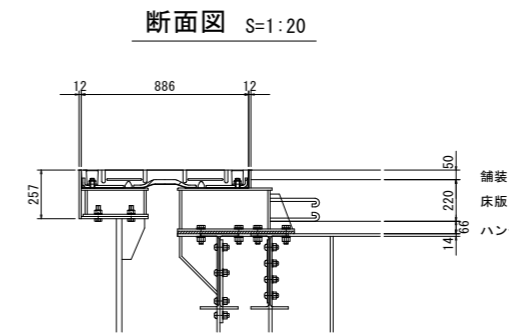
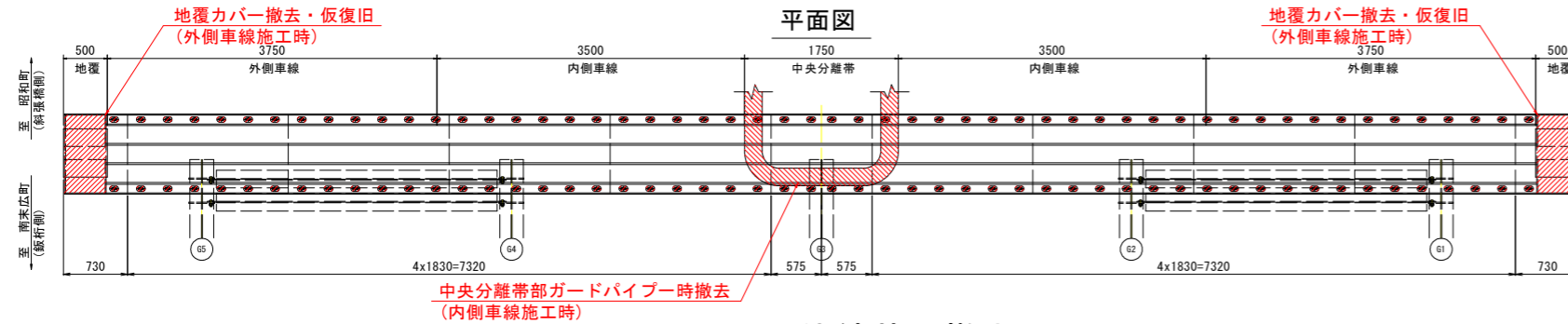
STEP1 準備工(横桁設置)



STEP1 準備工(横桁設置)

- ・今後の工事を、片側一車線で行うため、板桁側G1-G2・G4-G5桁間に横桁を設置する。
 - 施工日数：足場設置2日+横桁設置各1日(合計4日)
 - 交通規制：24時間 片側一車線規制(作業は昼間)
 - 施工対象：板桁側G1-G2・G4-G5桁間
 - 使用重機：4tユニック(横桁の設置)、2tトラック(資材運搬)
1. 吊り足場を設置する。
 2. 橋面に4tユニックを配置し、資材搬入を行う。
 3. 横桁を設置する。

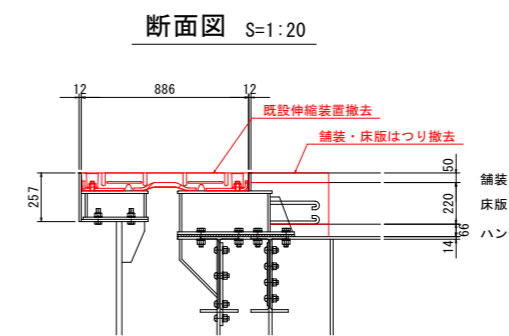
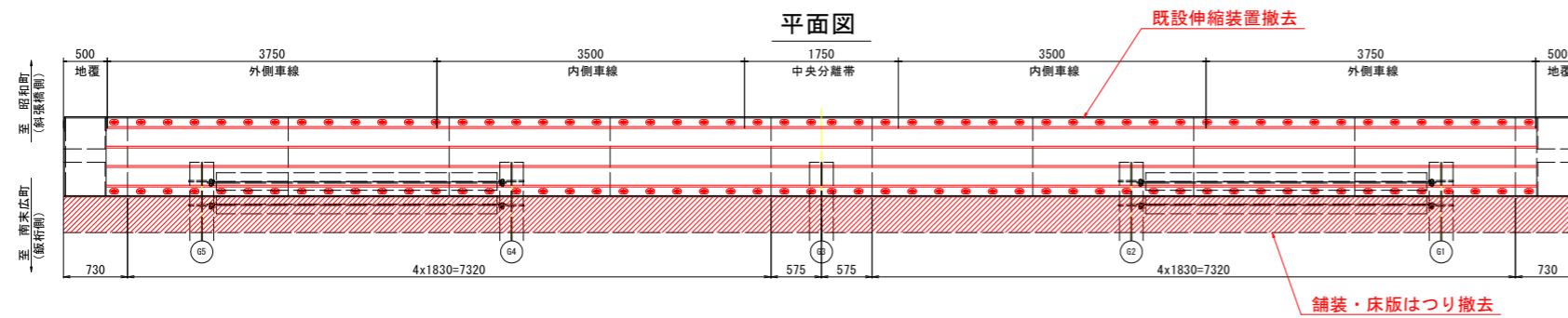
STEP2 準備工(橋面作業)



STEP2 準備工(橋面作業)

- ・施工にあたって障害となる物の撤去を行う。
 - 施工日数：1日(外側車線は+1日)
 - 交通規制：24時間 片側一車線規制(作業は昼間)
 - 施工対象：地覆-中央分離帯
 - 使用重機：2tトラック(資材運搬)
1. 外側車線の場合は地覆を、内側車線の場合は防護柵を一時撤去する。

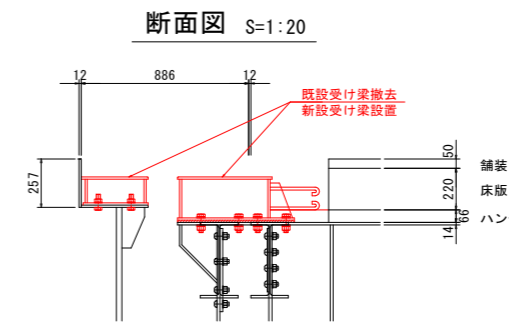
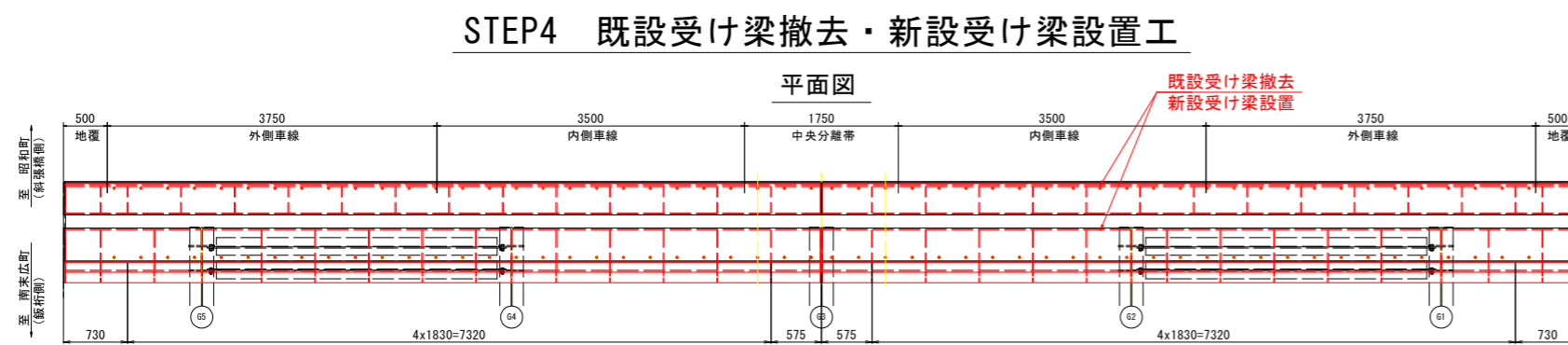
STEP3 既設伸縮装置撤去工



STEP3 既設伸縮装置撤去工

- ・既設伸縮装置を撤去する。
 - 施工日数：舗装・床版撤去2日+伸縮装置撤去1日(合計3日)
 - 交通規制：24時間 片側一車線規制(作業は昼間)
 - 施工対象：伸縮装置
 - 使用重機：4tユニック(伸縮装置撤去)、2tトラック(資材運搬)
1. 舗装・床版をはつり撤去する。
 2. 既設伸縮装置を撤去する。

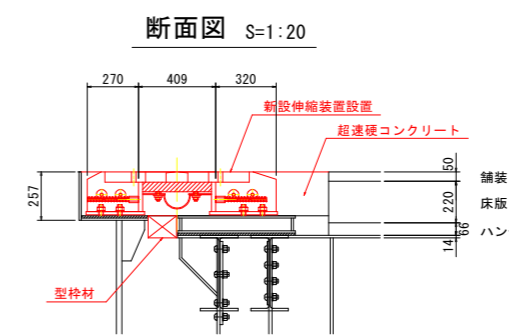
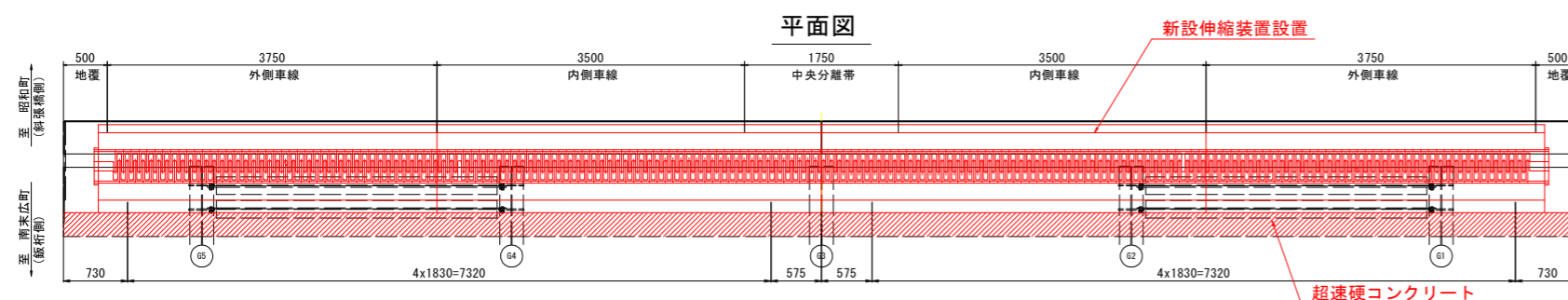
STEP4 既設受け梁撤去・新設受け梁設置工



STEP4 既設受け梁撤去・新設受け梁設置工

- ・既設受け梁を撤去し、新設受け梁を設置する。
 - 施工日数：撤去1日+設置3日(合計4日)
 - 交通規制：24時間 片側一車線規制(作業は昼間)
 - 施工対象：受け梁
 - 使用重機：4tユニック(受け梁撤去)、2tトラック(資材運搬)
1. 既設受け梁を車線間でガス切断する。
 2. 下面からボルトを取外し、既設受け梁を撤去する。
 3. 清掃を行う。
 4. 新設受け梁を設置する。

STEP5 伸縮装置設置工



STEP5 伸縮装置設置工

- ・各車線毎に新設伸縮装置を設置する。
 - 施工日数：伸縮装置設置1日+地覆・中央分離帯復旧1日(合計2日)
 - 交通規制：24時間 片側一車線規制(作業は昼間)
 - 施工対象：伸縮装置、地覆-中央分離帯
 - 使用重機：4tユニック(伸縮装置設置)、2tトラック(資材運搬) ジェットモーター車
1. 伸縮装置を設置する。
 2. ジェットコンを打設する。
 3. 外側車線の場合は地覆を、内側車線の場合は防護柵を復旧して作業完了とする。

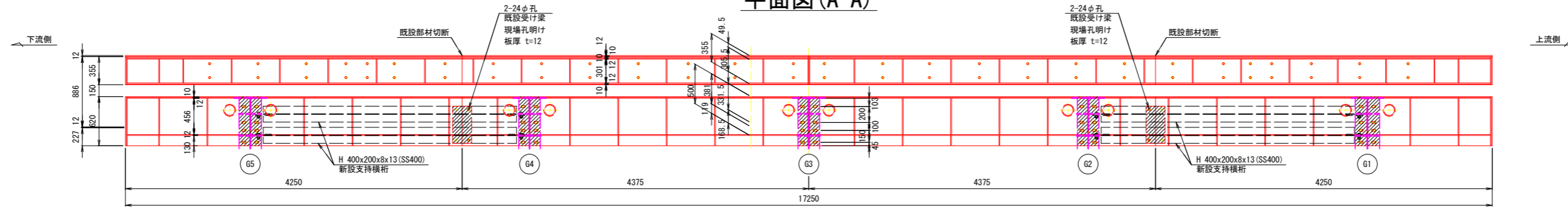
注記)
1. 上記施工日数には不稼働係数を考慮していない。

実施設計図面	
工事名	R6徳島(徳島環状線(末広大橋)徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型))
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)
図面名	伸縮装置取替施工要領図
縮尺	1:40 図面番号 2/9
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

伸縮装置取替工(その1) S=1:30

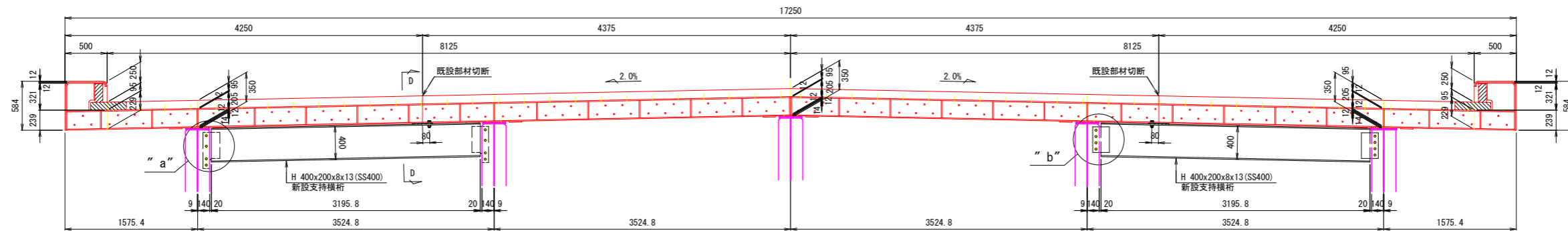
P34橋脚 新設支持横桁詳細

平面図(A-A)



正面図(B-B)

正面図(C-C)



支持横桁(1組当たり材料 全2組)
 ※ 1-H 400x200x8x13x3205
 ※ 2-PL 200x14x430 (SM400A)
 ※ 8-HTB M2x70 (F8T)
 1-BN M2x70 (2-W付)・・・既設受け梁撤去の際に同時に撤去する。

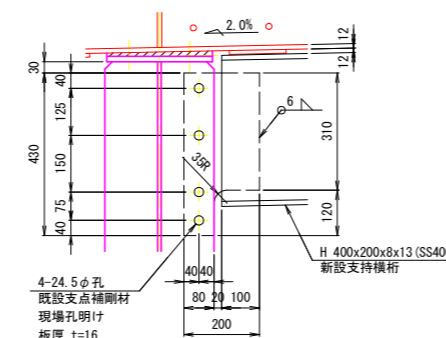
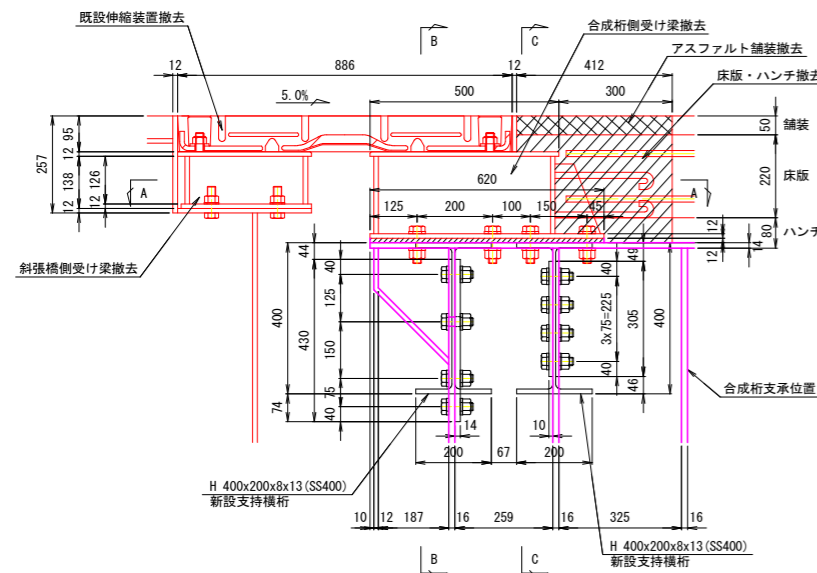
支持横桁(1組当たり材料 全2組)
 ※ 1-H 400x200x8x13x3205
 ※ 2-PL 200x10x305 (SM400A)
 ※ 8-HTB M2x70 (F8T)
 1-BN M2x70 (2-W付)・・・既設受け梁撤去の際に同時に撤去する。

断面図 S=1:10

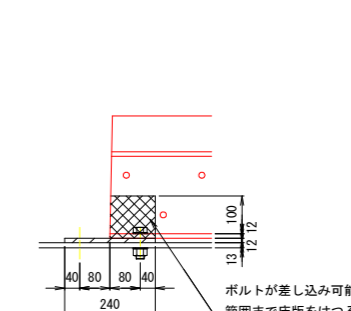
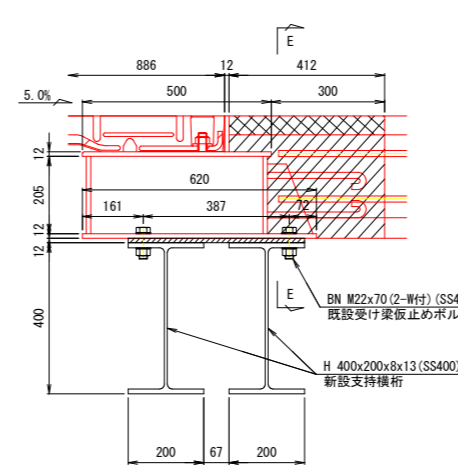
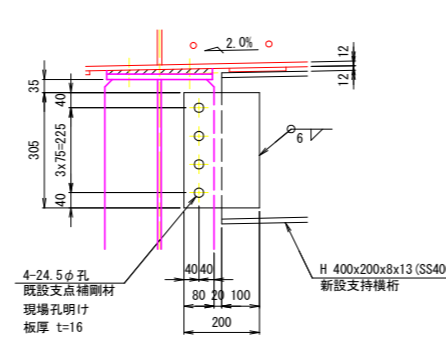
"a"部詳細 S=1:10

D-D S=1:10

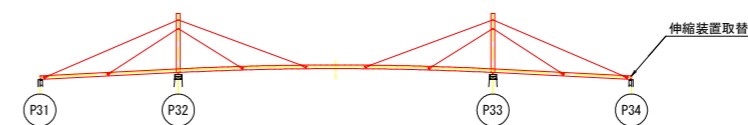
E-E S=1:10



"b"部詳細 S=1:10



配置図



- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400を示す。
 - 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
 - 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 - 新規部材の高力ボルト孔はφ26.5とし、既設部材への現場孔明けはφ24.5とすること。
 - 高力ボルト接合部(摩擦接合面)は、浮き錆び・塗膜を取り除くとともに適切な下地処理を施すこと。
 - ※印の部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT 77とする。

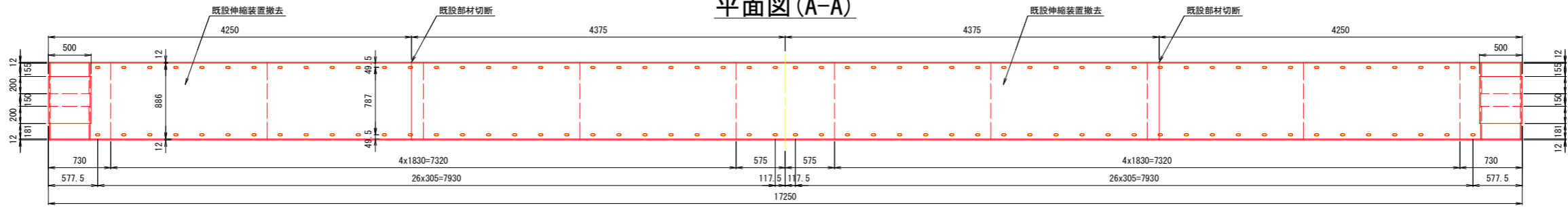
実施設計図面

工事名	R6徳島 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)		
図面名	伸縮装置取替工(その1)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

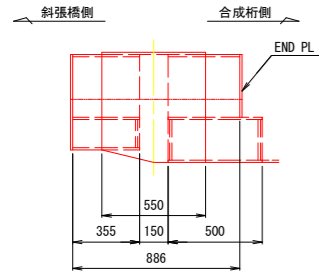
伸縮装置取替工(その2) S=1:30

P34橋脚 既設伸縮装置撤去詳細(その1)

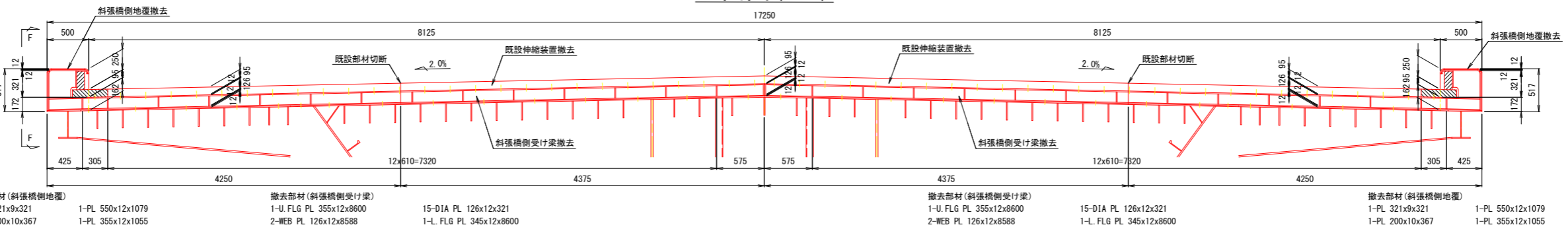
平面図(A-A)



F-F S=1:20

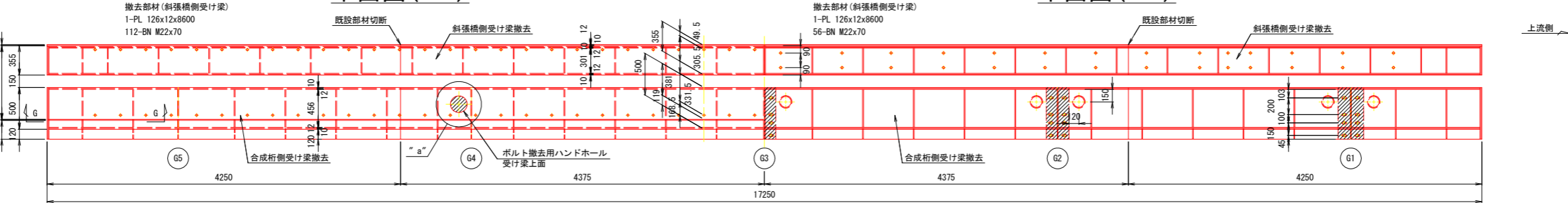


正面図(D-D)

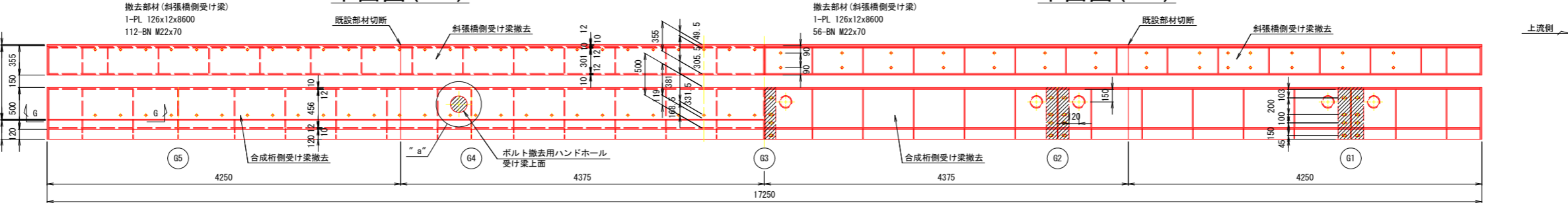


- 撤去部材(斜張橋側地覆) 1-PL 321x9x321, 1-PL 200x10x367
- 撤去部材(斜張橋側地覆) 1-PL 550x12x1079, 1-PL 355x12x1055
- 撤去部材(斜張橋側受け梁) 1-U.FLG PL 355x12x8600, 2-WEB PL 126x12x8588
- 15-DIA PL 126x12x321, 1-L.FLG PL 345x12x8600
- 撤去部材(斜張橋側受け梁) 1-U.FLG PL 355x12x8600, 2-WEB PL 126x12x8588
- 15-DIA PL 126x12x321, 1-L.FLG PL 345x12x8600
- 撤去部材(斜張橋側地覆) 1-PL 321x9x321, 1-PL 200x10x367
- 1-PL 550x12x1079, 1-PL 355x12x1055

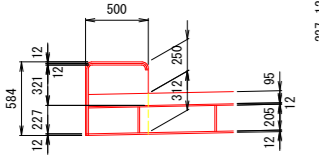
平面図(B-B)



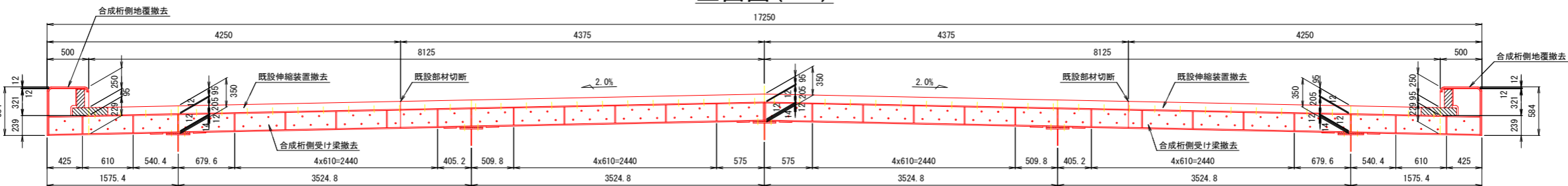
平面図(C-C)



G-G

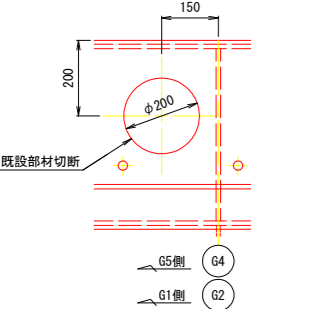


正面図(E-E)

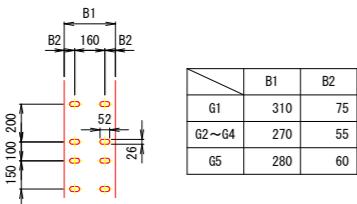


- 撤去部材(合成桁側地覆) 2-PL 500x12x260
- 撤去部材(合成桁側受け梁) 1-PL 95x12x8600, 15-RIB PL 110x10x185
- 15-RIB PL 50x10x80
- 1-PL 95x12x8600, 15-RIB PL 110x10x185
- 15-RIB PL 50x10x80
- 撤去部材(合成桁側受け梁) 1-PL 95x12x8600, 15-RIB PL 110x10x185
- 15-RIB PL 50x10x80
- 撤去部材(合成桁側地覆) 1-PL 321x9x321, 1-PL 200x10x620, 1-PL 550x12x1146, 1-PL 500x12x1122
- 撤去部材(合成桁側受け梁) 1-U.FLG PL 500x12x8600, 2-WEB PL 205x12x8588, 1-L.FLG PL 620x12x8600, 15-DIA PL 205x12x456
- 70-RB φ16x300(SR24), 1-FILL PL 280x19x620, 1-FILL PL 270x19x620, 1-FILL PL 135x16x620
- 16-HTB M22x85(F11T), 4-HTB M22x80(F11T), 5-PL φ150x10
- 撤去部材(合成桁側受け梁) 1-U.FLG PL 500x12x8600, 2-WEB PL 205x12x8588, 1-L.FLG PL 620x12x8600, 15-DIA PL 205x12x456
- 70-RB φ16x300(SR24), 1-FILL PL 135x16x620, 1-L.FLG PL 270x19x620, 1-FILL PL 310x19x620
- 4-HTB M22x80(F11T), 16-HTB M22x85(F11T), 5-PL φ150x10
- 撤去部材(合成桁側地覆) 1-PL 321x9x321, 1-PL 200x10x620, 1-PL 550x12x1146, 1-PL 355x12x1122

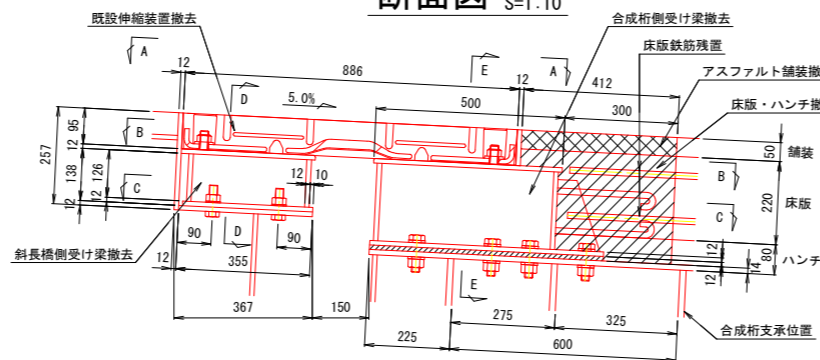
"a"部詳細 S=1:10



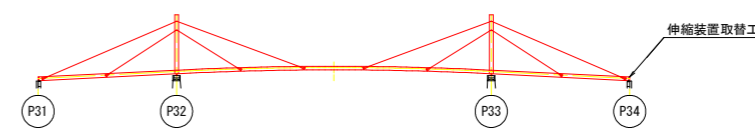
合成桁上フランジボルト孔詳細 S=1:20



断面図 S=1:10



配置図



注記) 1. 特記なき材質は、全てSS41を示す。
実施設計図面

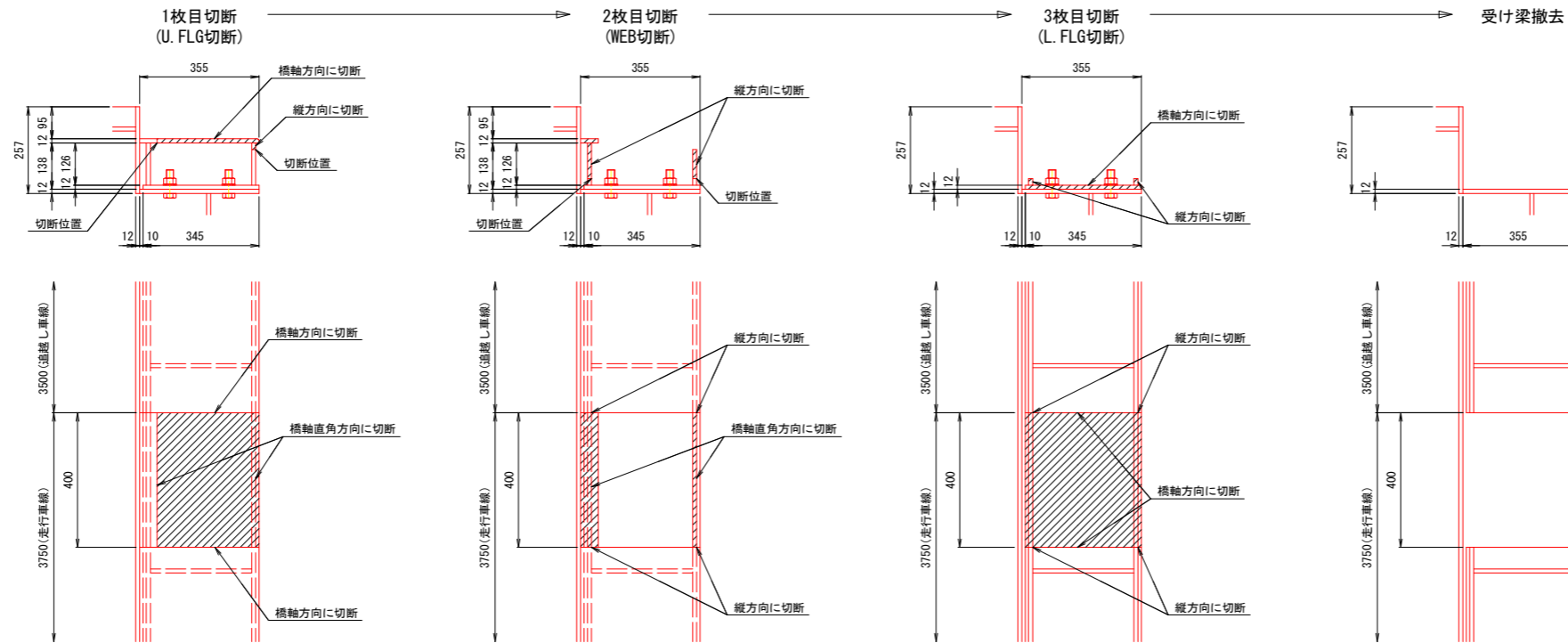
工事名	R6徳土 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型)
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)
図面名	伸縮装置取替工(その2)
縮尺	図示 図面番号 4/9
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

伸縮装置取替工(その3) S=1:10

P34橋脚 既設伸縮装置撤去詳細(その2)

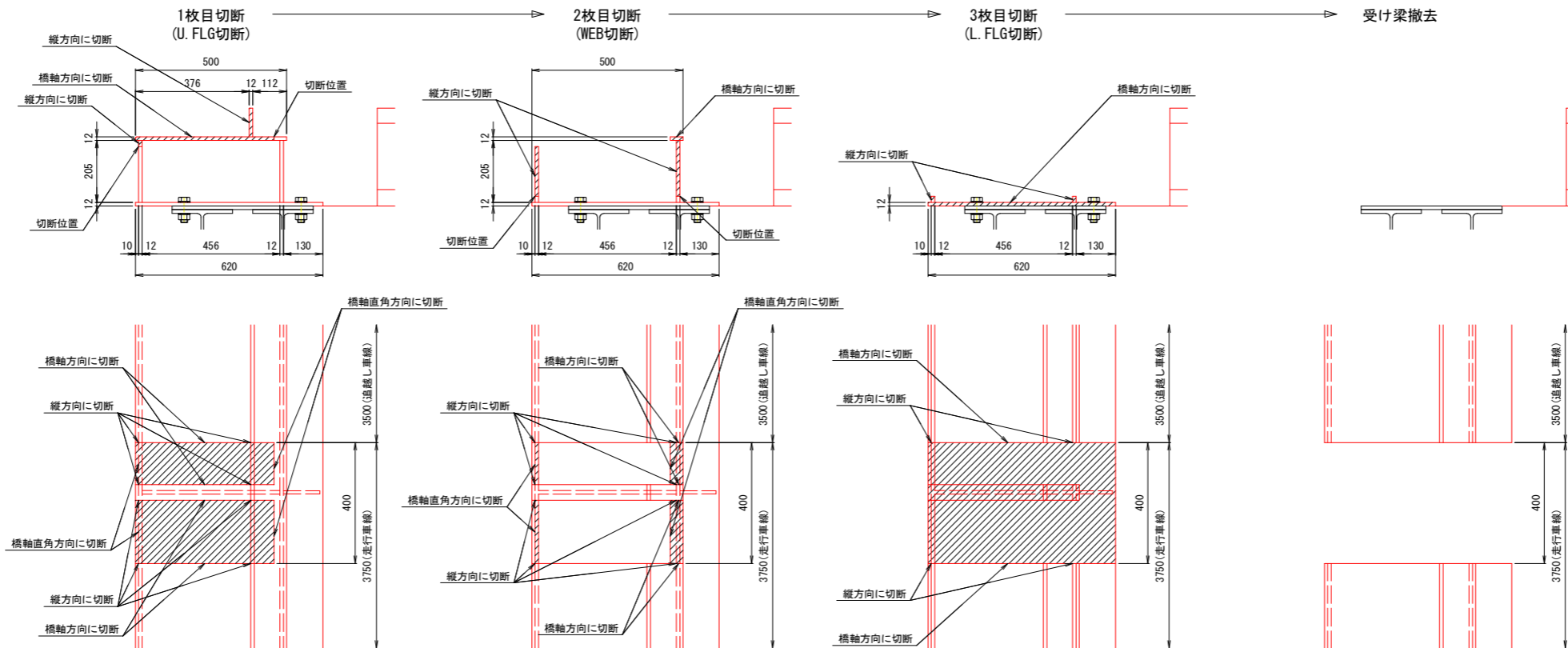
斜張橋側受け梁切断詳細図

※一度のガス切断で箱断面の鋼材をまとめて切断することは困難であると想定されるため、1枚ごとに切断・撤去を行う計画とする。



合成桁側受け梁切断詳細図

※一度のガス切断で箱断面の鋼材をまとめて切断することは困難であると想定されるため、1枚ごとに切断・撤去を行う計画とする。

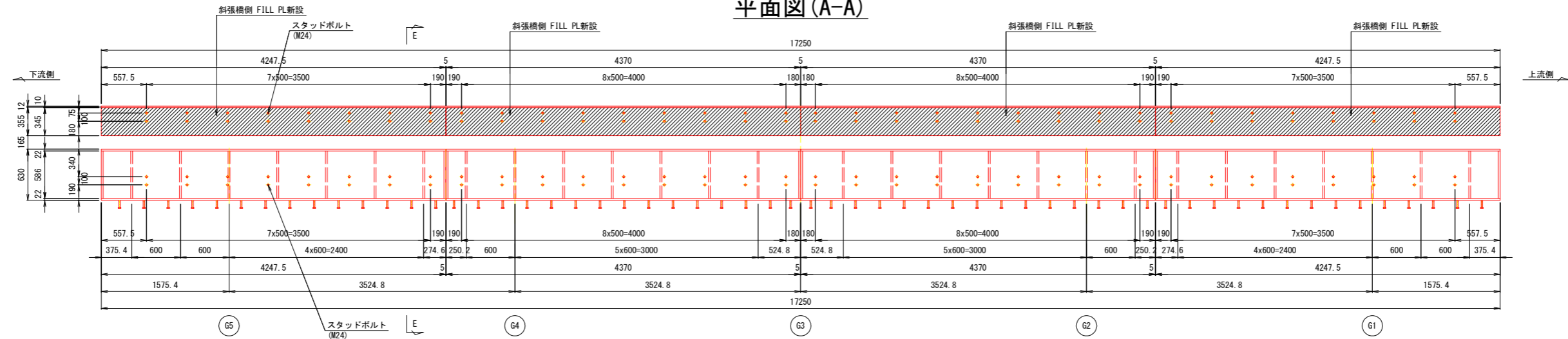


実施設計図面	
工事名	R6徳島 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型)
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)
図面名	伸縮装置取替工(その3)
縮尺	1:10 図面番号 5/9
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

伸縮装置取替工(その4) S=1:30

P34橋脚 斜張橋側 FILL PL詳細

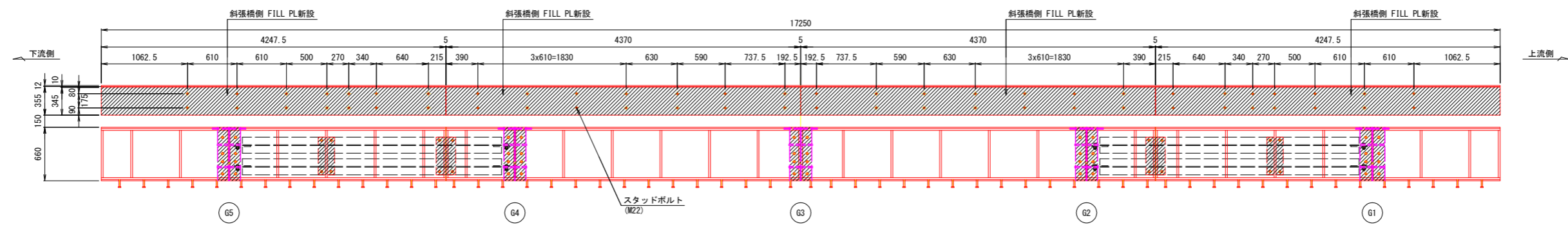
平面図(A-A)



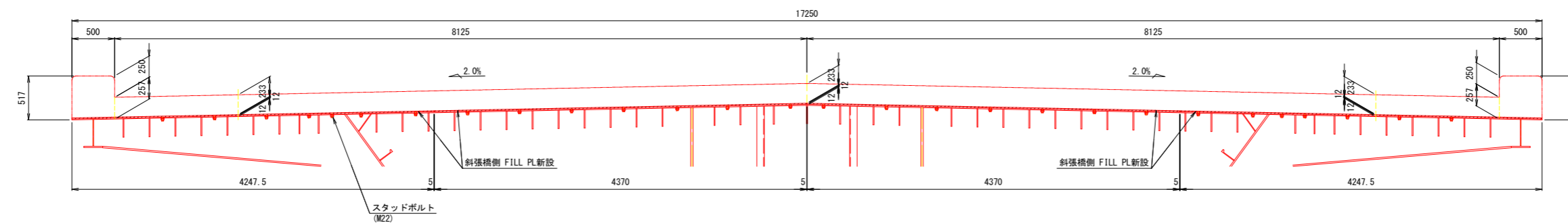
斜張橋側 FILL PL (1組当たり材料 全2組)
1-FILL PL 345x12x4248
14-スタッドボルト M22x45 (1-ナット, 1-座金付) (SS400)

斜張橋側 FILL PL (1組当たり材料 全2組)
1-FILL PL 345x12x4371
14-スタッドボルト M22x45 (1-ナット, 1-座金付) (SS400)

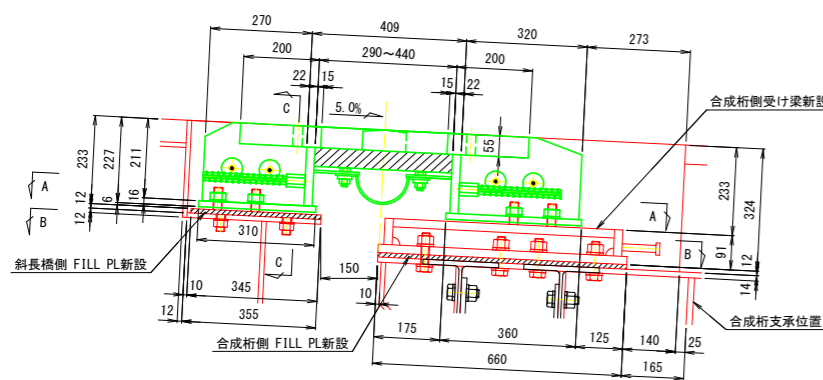
平面図(B-B)



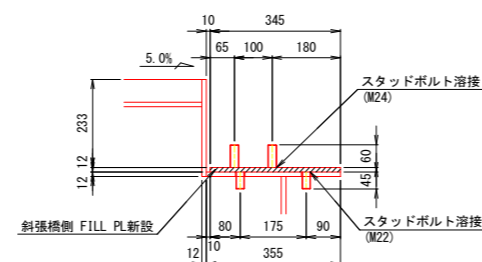
正面図(C-C)



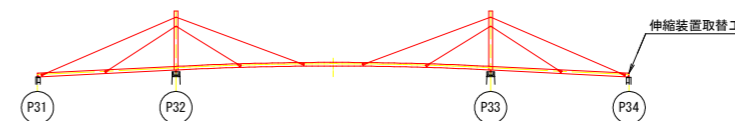
断面図 S=1:10



E-E S=1:10



配置図



- 注記)
1. 特記なき材質は、全てSM400Aを示す。
 2. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
 3. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 4. 新設部材の既設部への取付に際しては、既設部のボルト孔を再利用のこと。スタッドボルトの溶接部が干渉する場合は、適宜拡大すること。

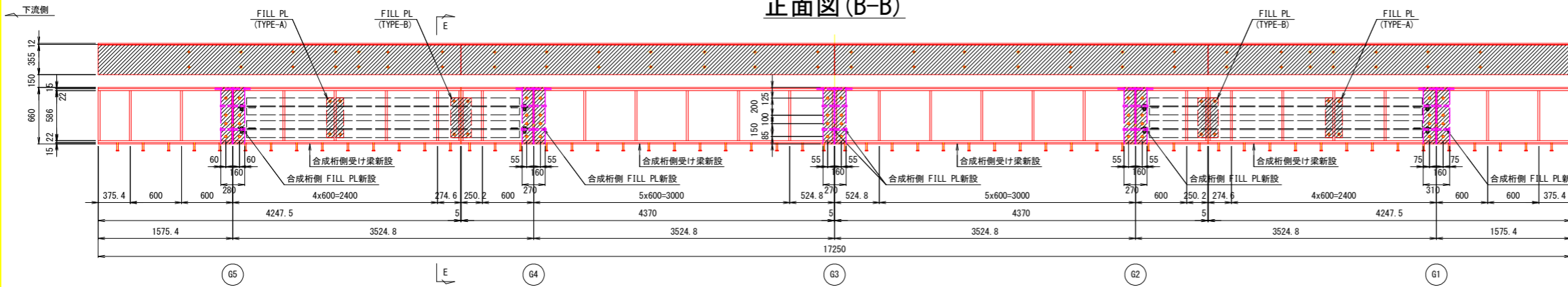
実施設計図面

工事名	R6徳島 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型)
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)
図面名	伸縮装置取替工(その4)
縮尺	図示 図面番号 6 / 9
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

伸縮装置取替工(その5) S=1:30

P34橋脚 合成桁側伸縮装置受け梁詳細

正面図(B-B)

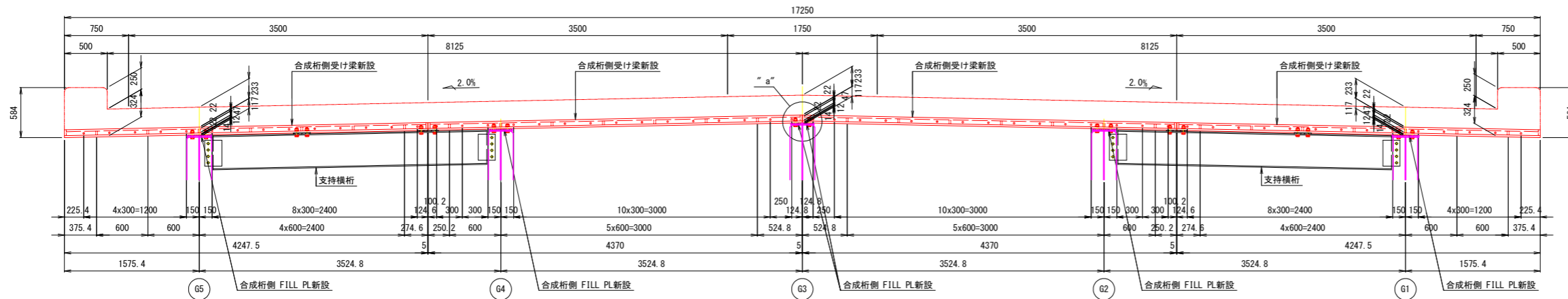


FILL PL (G5)	FILL PL (TYPE-A)	FILL PL (TYPE-B)	FILL PL (G4)	FILL PL (G3)	FILL PL (G2)	FILL PL (TYPE-B)	FILL PL (TYPE-A)	FILL PL (G1)
1-FILL PL 280x16x660 (SS400) ※ 8-HTB M22x90 (F8T) ※ 8-PL 50x8x50 (SS400)	※ 1-FILL PL 200x12x467 (SS400) ※ 4-HTB M22x90 (F8T)	※ 1-FILL PL 240x12x467 (SS400) ※ 4-HTB M22x90 (F8T)	1-FILL PL 270x16x660 (SS400) ※ 8-HTB M22x90 (F8T) ※ 8-PL 50x8x50 (SS400)	2-FILL PL 133x12x660 (SS400) ※ 8-HTB M22x90 (F8T) ※ 8-PL 50x8x50 (SS400)	1-FILL PL 270x16x660 (SS400) ※ 8-HTB M22x90 (F8T) ※ 8-PL 50x8x50 (SS400)	※ 1-FILL PL 240x12x467 (SS400) ※ 4-HTB M22x90 (F8T)	※ 1-FILL PL 200x12x467 (SS400) ※ 4-HTB M22x90 (F8T)	1-FILL PL 310x16x660 (SS400) ※ 8-HTB M22x90 (F8T) ※ 8-PL 50x8x50 (SS400)

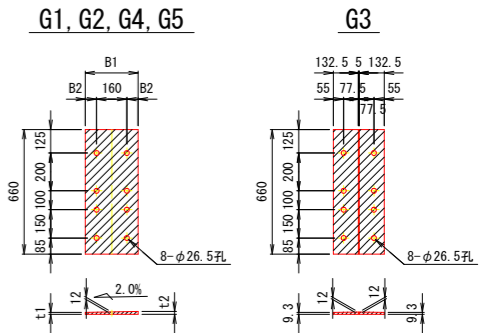
合成桁側受け梁(1組当たり材料 全2組)
 ※ 1-U.FLG PL 586x22x4205 ※ 7-RIB PL 47x22x586
 ※ 2-WEB PL 69x22x4250 ※ 2-RIB PL 69x22x586
 ※ 1-L.FLG PL 660x22x4249 ※ 14-STUD φ19x100 (SS400相当品)

合成桁側受け梁(1組当たり材料 全2組)
 ※ 1-U.FLG PL 586x22x4327 ※ 7-RIB PL 47x22x586
 ※ 2-WEB PL 69x22x4372 ※ 2-RIB PL 69x22x586
 ※ 1-L.FLG PL 660x22x4372 ※ 15-STUD φ19x100 (SS400相当品)

正面図(D-D)

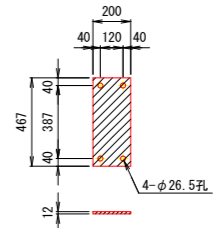


合成桁側 FILL PL詳細 S=1:20

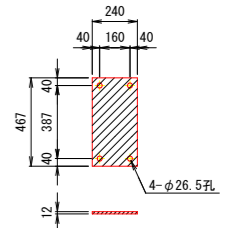


	B1	B2	t1	t2
G1	310	75	8.9	15.1
G2, G4	270	55	9.3	14.7
G5	280	60	9.2	14.8

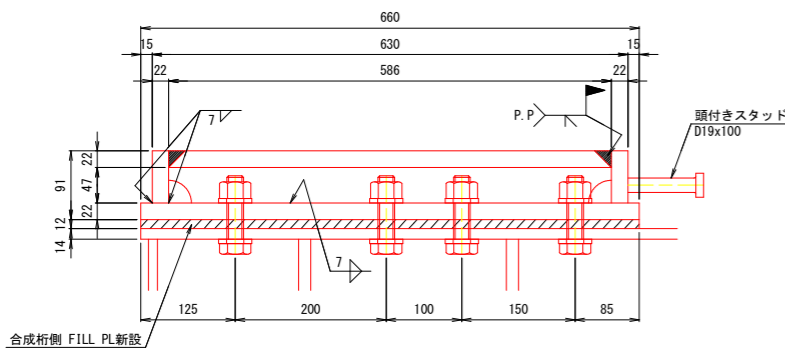
TYPE-A



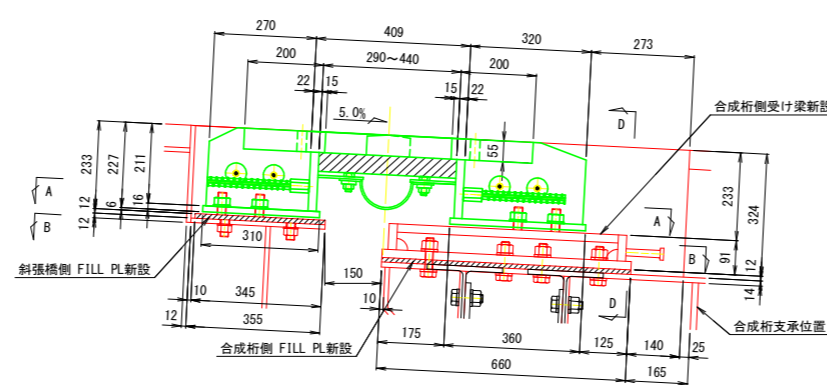
TYPE-B



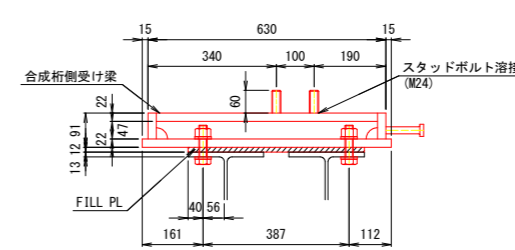
合成桁側伸縮装置受け梁詳細図 S=1:5



断面図 S=1:10

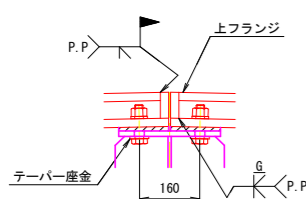


E-E S=1:10

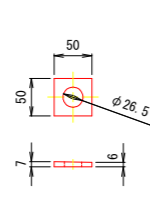


- 注記
- 特記なき材質は、全てSM490Aを示す。
 - 特記なきスカーラップは、全て30Rを示す。
 - 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
 - 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
 - 新規部材の高力ボルト孔はφ26.5とすること。
 - 新設部材の既設部への取付に際しては、既設部のボルト孔を再利用のこと。
 - 高力ボルト接合部(摩擦接合面)は、浮き錆び・塗膜を取り除くとともに適切な下地処理を施すこと。
 - ※印の部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT 77とする。

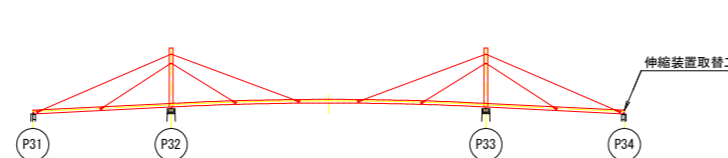
"a"部詳細 S=1:10



テーパ座金詳細 S=1:5



配置図

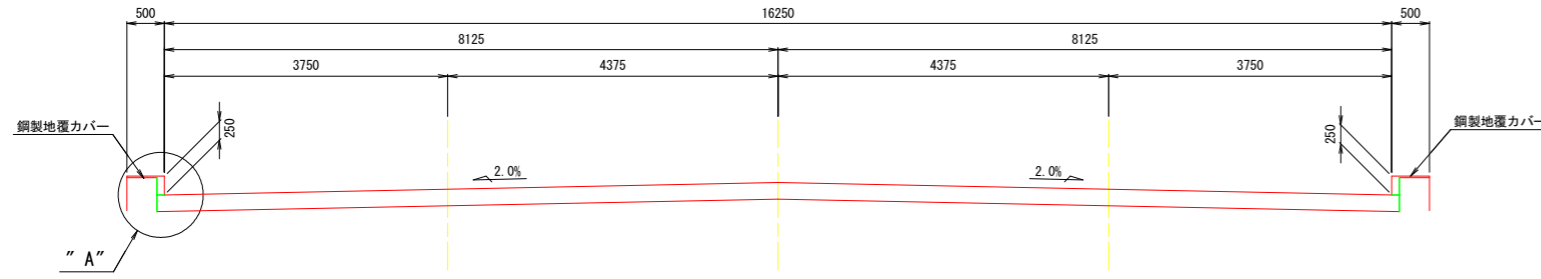


工事名	R6徳土 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型)
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)
図面名	伸縮装置取替工(その5)
縮尺	図示 図面番号 7/9
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

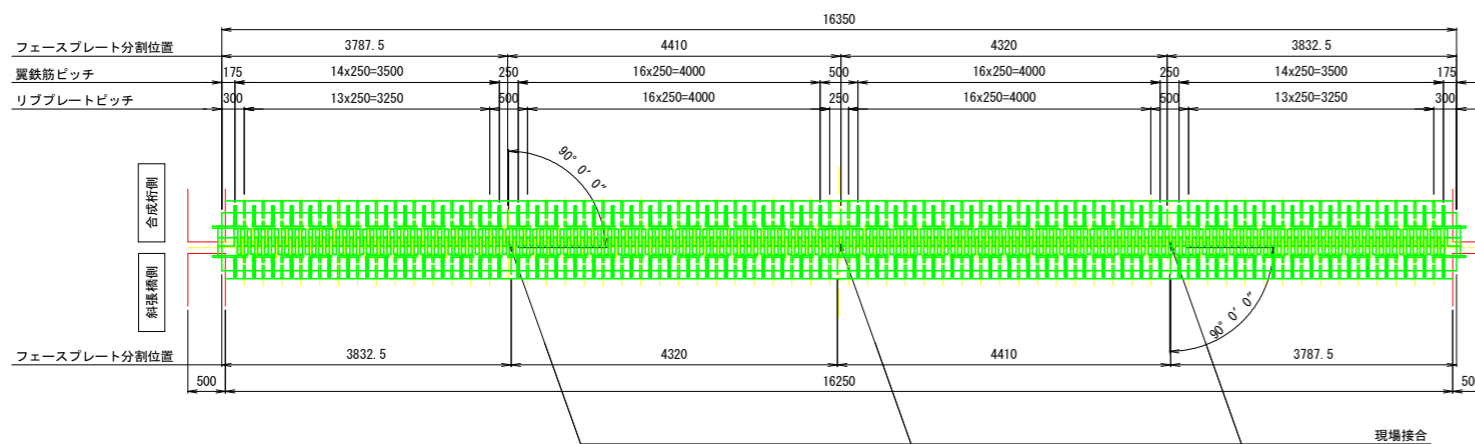
伸縮装置取替工(その6) S=1:50

P34橋脚 伸縮装置構造図

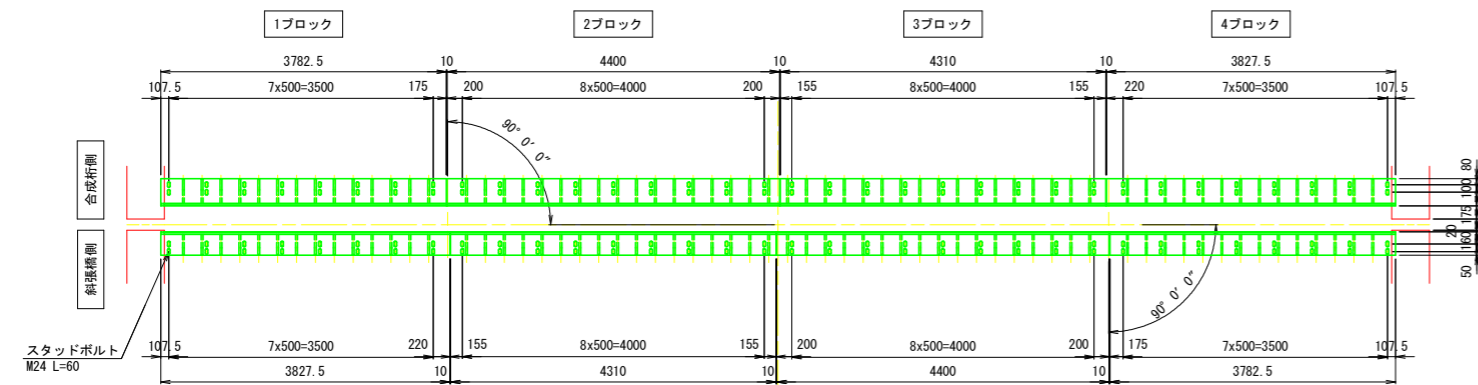
断面図



平面図(A-A)



平面図(B-B)



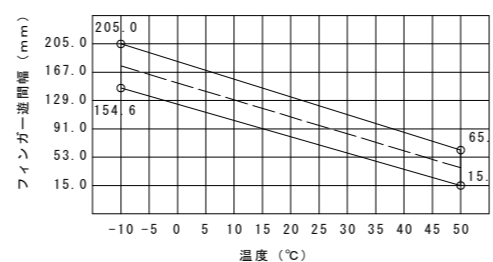
- 注1) スタッドボルトは伸縮装置長穴箇所に合わせて、既設溶接プレートが無い箇所に設置すること。
- 注2) スタッドボルトは伸縮装置1ブロック毎に片側6列で12本(合計24本)以上を設置・固定すること。ただし、可能な限り偏りの無きよう等間隔に配置すること。
- 注3) 高さ調整用のボルトは必要分を適宜用意して対応のこと。高さ調整後の隙間はフィラープレート等で埋めること。

伸縮継手料表

名称	材質	合計数量	備考
プロフジョイントC11型-150用	SM490 SS490 合成ゴム SD345 弾性シール材	16.350 m	車道用
遮水エッジ		2 ヶ所	"
超速硬コンクリート		4.411 m ³	
通し筋	SD345	4 本	D16x16250
スタッドボルト M24 L=60		96 本	ナット・大型丸ワッシャー付き
カバープレート	SUS304	2 組	地覆部
コンクリートアンカー M12	"	6 本	カバープレート固定用

- 注1) 伸縮継手長さは現地測量後決定する事。
- 注2) 伸縮装置断面形状及び遮水エッジ形状等は現地測量結果を反映させて適宜形状を変更すること。
- 注3) カバープレート形状は現地測量後決定する事。
- 注4) スタッドボルトは既設溶接プレートを避けて設置すること。
- 注5) 地覆コンクリートの数量は現地測量後に決定すること。

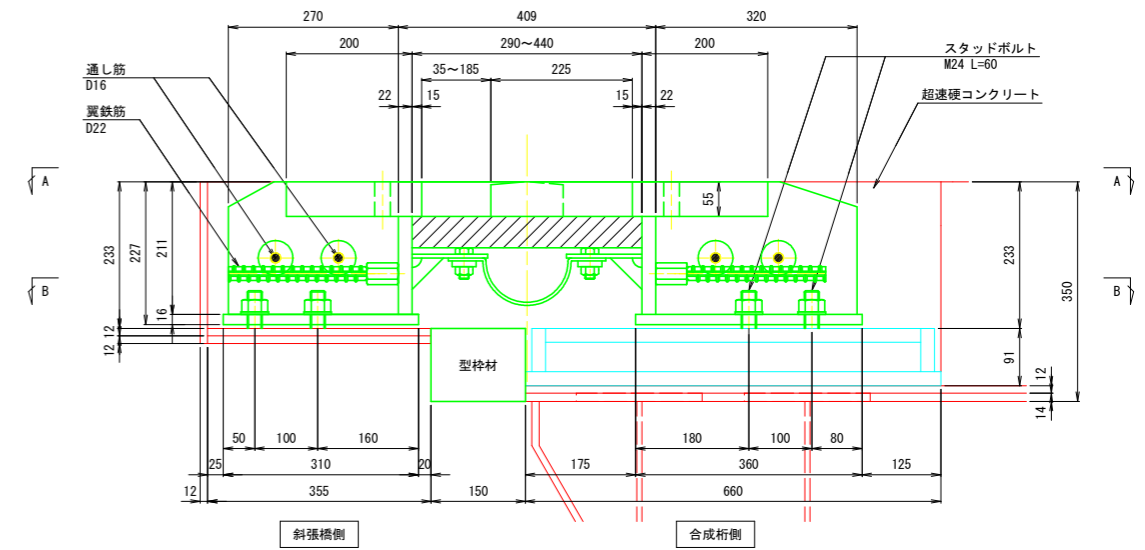
温度-遊間グラフ



※図中のハッチング範囲でフィンガー遊間幅を決定すること。

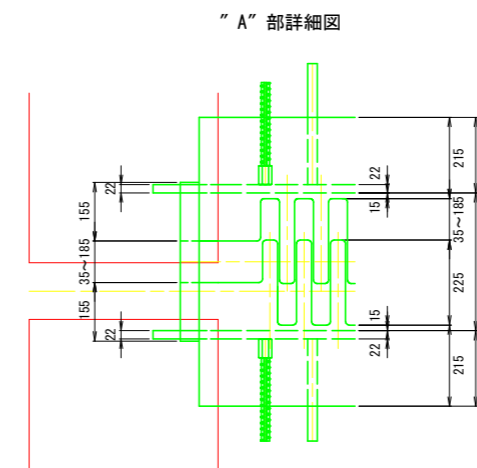
伸縮装置断面図 S=1:6

プロフジョイントC11型-150用
(車道用)

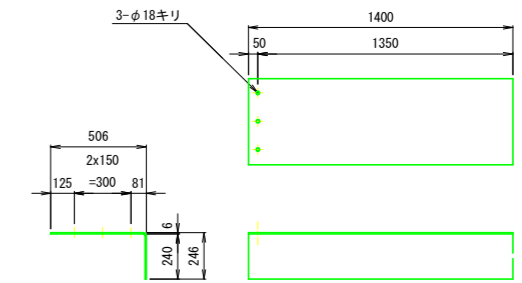


※不陸調整はフィラープレート、エポキシ樹脂、パテ材等にて行うこと。

端部立ち上げ詳細図 S=1:10



カバープレート S=1:20

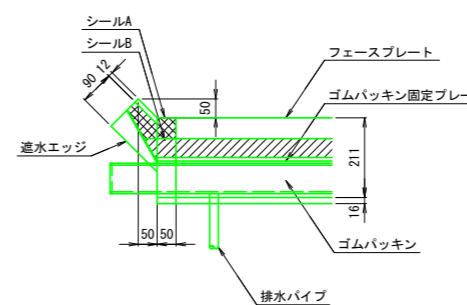


※カバープレートは現地測量後に決定し、適した構造および工法とすること。

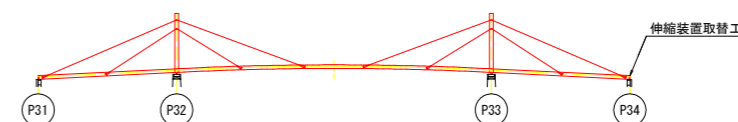
地覆コンクリート型枠(参考図)

※地覆部構造は現地測量後に決定し、適した構造および工法とすること。

"A"部断面図



配置図



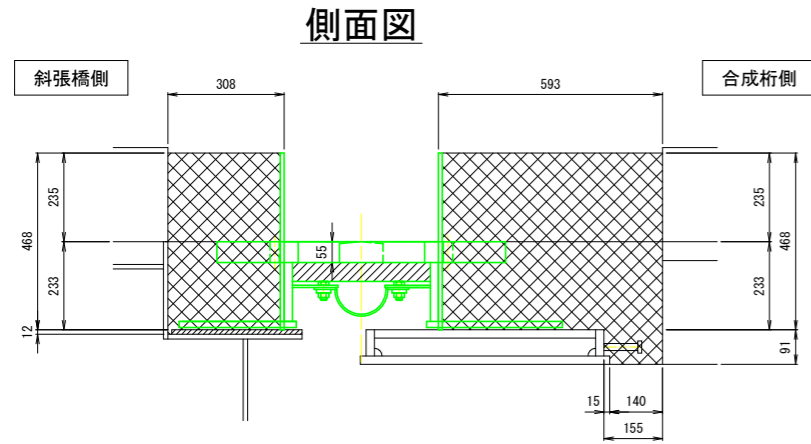
実施設計図面

工事名	R6徳土 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担手確保型)		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)		
図面名	伸縮装置取替工(その6)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

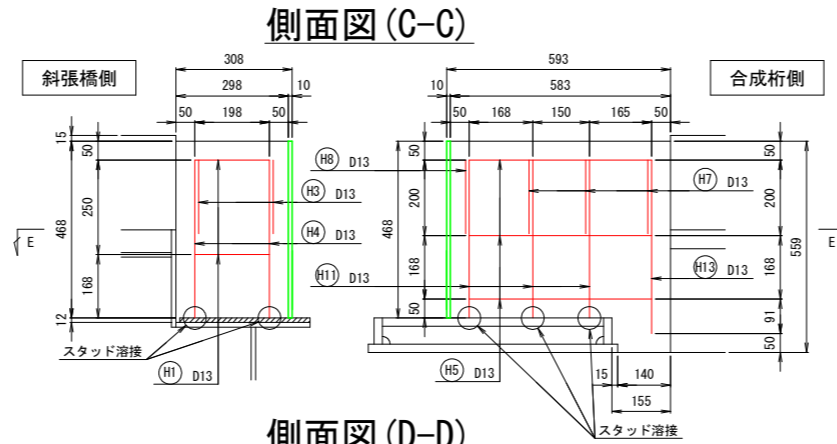
伸縮装置取替工(その7) S=1:10

P34橋脚 地覆詳細

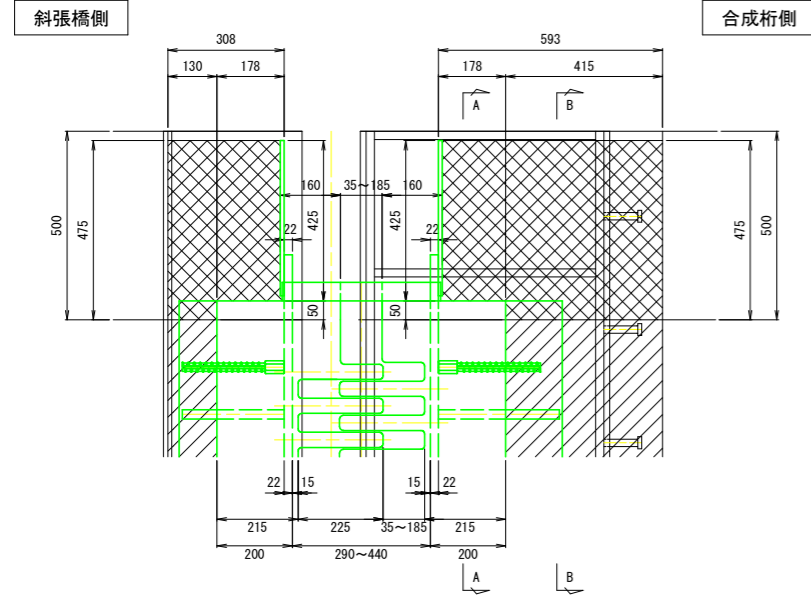
地覆構造図



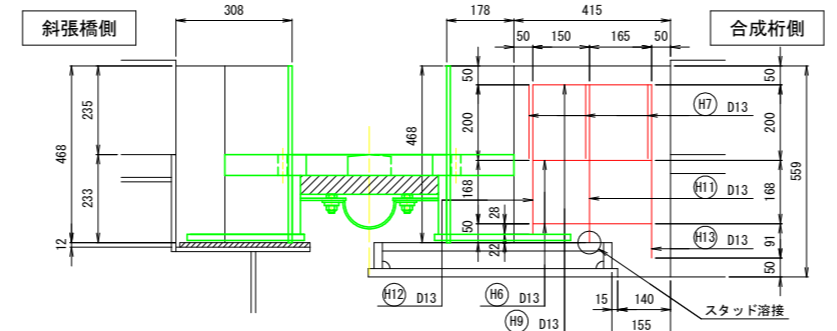
地覆配筋図



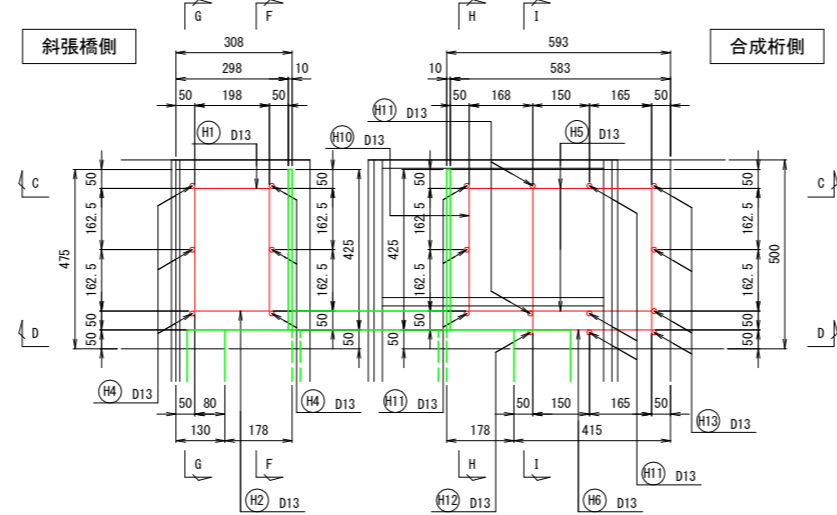
平面図



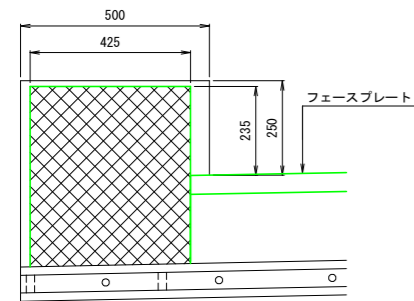
側面図(D-D)



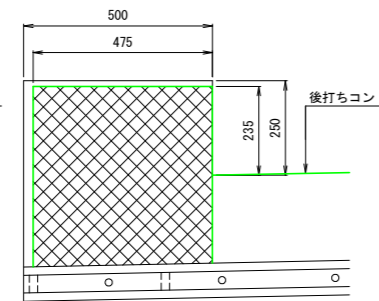
平面図(E-E)



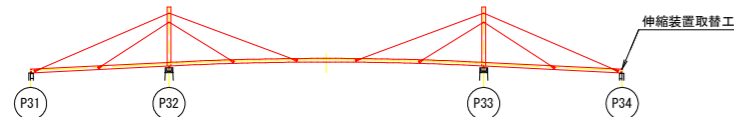
断面図(A-A)



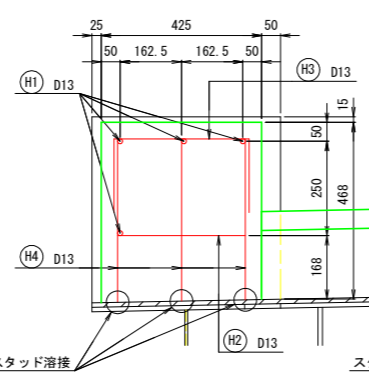
断面図(B-B)



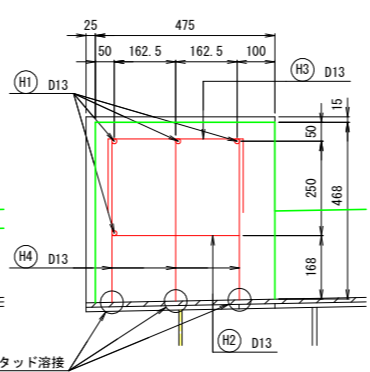
配置図



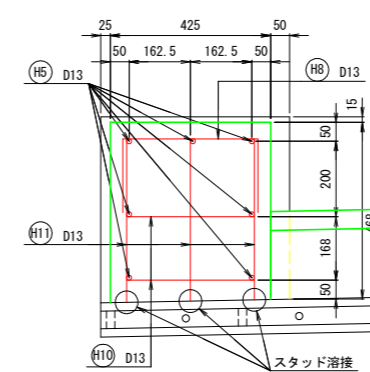
断面図(F-F)



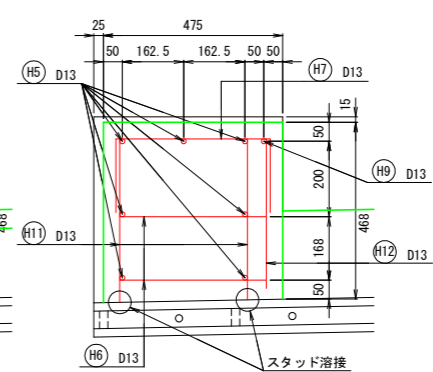
断面図(G-G)



断面図(H-H)



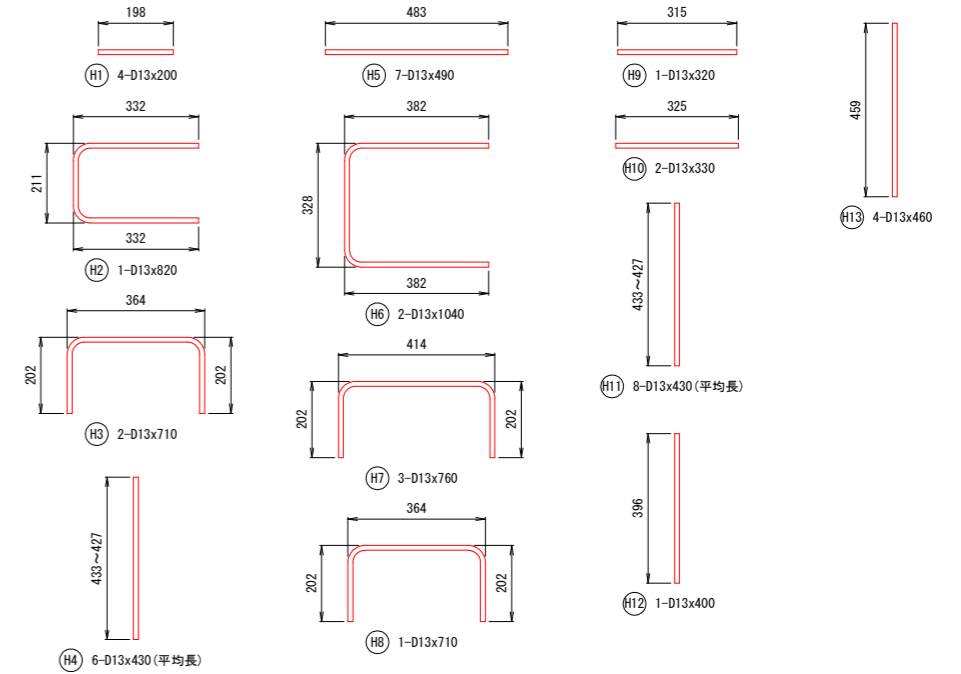
断面図(I-I)



鉄筋質量表(SD345)(1箇所あたり)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
H 1	D13	200	4	0.995	0.20	1	—	
H 2	D13	820	1	0.995	0.82	1	—	
H 3	D13	710	2	0.995	0.71	1	—	
H 5	D13	490	7	0.995	0.49	3	—	
H 6	D13	1040	2	0.995	1.03	2	—	
H 7	D13	760	3	0.995	0.76	2	—	
H 8	D13	710	1	0.995	0.71	1	—	
H 9	D13	320	1	0.995	0.32	0	—	
H 10	D13	330	2	0.995	0.33	1	—	
H 12	D13	400	1	0.995	0.40	0	—	
H 13	D13	460	4	0.995	0.46	2	—	
							14	
H 4	D13	430	6	0.995	0.43	3	(平均長)	
H 11	D13	430	8	0.995	0.43	3	(平均長)	
							6	
							SD345 D13	14 kg
							SD345(異形スタッド) D13	6 kg

※鉄筋の定着はスタッド溶接を想定している。



- 注記)
1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
 2. 地覆部のコンクリートは伸縮装置の後打ちコンクリートと同時の打設を想定している。
 3. 地覆部の型枠設置や配筋等は受け梁設置作業と並行して行うものとする。

実施設計図面

工事名	R6徳土 徳島環状線(末広大橋) 徳・南末広 橋梁修繕工事(担い手確保型)
路線名等	徳島環状線
工事箇所	徳島市南末広町(末広大橋)
図面名	伸縮装置取替工(その7)
縮尺	1:10 図面番号 9/9
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>